

# ① 学年より

初めての校外学習があり、午前中は写真コンテストと国立博物館での見学。国立博物館では、見学だけではなく、キャリアガイダンスを聴き、新たな学びがありました。午後は、班に分かれ、それぞれが事前に決めた見学地を巡る都内巡りを行いました。普段なかなか訪れない場所を見学し、新たな経験をしました。校外学習の最終目標は、3年生の修学旅行の成功です。その第一歩として、計画する力、他と協力する力など様々な力を身に付けました。大変意味のある校外学習となりました。

# ② 学年より

2月2日(金)に鎌倉校外学習が実施されます。それに向けて自分たちで見学地等を考えて準備を進めています。1年生のときとは違い、1日全ての計画を立てました。食事場所も予約をするなど、より自分たちで責任を取る内容となっています。6月の修学旅行に向けて自律した行動ができるかがポイントとなる校外学習になります。最近の様子を見ると、すこし落ち着かない雰囲気が目立ちます。4月から最高学年である3年生であること。そして義務教育最後の年であることを考え、3学期という準備期間を過ごすように伝えています。

# ③ 学年より

年が明け、早速高校進学に向けた入試が始まりました。1月22日(月)から私立高校の推薦入試が始まり、1月26日(金)には都立高校の推薦入試が実施されました。昨年末から主に面接や小論文(作文)の練習に力を入れてきました。多くの生徒から入試当日も良い緊張感で臨むことができたという報告を受けています。都立推薦入試の結果は2月2日(金)です。良い結果が出ることを期待しています。

3年生全員が進路を決められるよう、これからも全力でサポートしていきたいと思ひます。

# A組より

3学期に入り、1・2年生は校外学習の事前学習を交流学級と共に取り組んでいました。先日は、1年生の校に参加してきました。班長を中心に声を掛けられたり、行動のペースを合わせてくれたりと、とても良い時間を過ごすことができました。

A組では「作業学習」という授業があります。この時間では、事務作業や清掃作業といった職業に関する単元を中心に行っています。清掃作業の中では清掃技能検定に基づいて、「ウインドスクイジー」を使って窓拭きをしています。A組の扉を中心に練習をしています。そろそろ、校舎内の窓を掃除しようと計画しています。

## 未来を変えるには

新年を迎え、生徒たちも新たな夢や目標をもって3学期を迎えていることと思います。

元旦に私は、新聞各社の社説を読むことから新年を迎えています。各社の社説の文末には「争いの芽を摘む関心と関与を忘れぬ年としたい」「銃や暴力ではなく話し合いで物事を解決する力を磨きたい」「争いを話し合いで解決する忍耐強さと、他者との共生の道を模索する英知が求められている」「平和への貢献に力を尽くしたい」と、平和な社会への願いを伝えるものでした。

未来を変えるにはどうしたらいいでしょうか。それは「今という瞬間を大切に精一杯生きる」ということだと、始業式で生徒たちに話をしました。

夢を実現させるためには努力が必要です。夢が大きければ大きいほど、その実現のために必要となるエネルギーも大きくなります。夢を実現させようとするエネルギーは、生徒自らが生み出し、生徒たちの成長に好ましい影響を及ぼすと考えています。そして実現までの過程において、定期的にどこまで到達したかを振り返ることで自分自身の努力を自覚し、自己肯定感を高めていくことでしょう。

今年のスタートにあたり、生徒たちが希望をもって未来社会を担っていくように、安全、安心な環境の下での学びに努めてまいります。

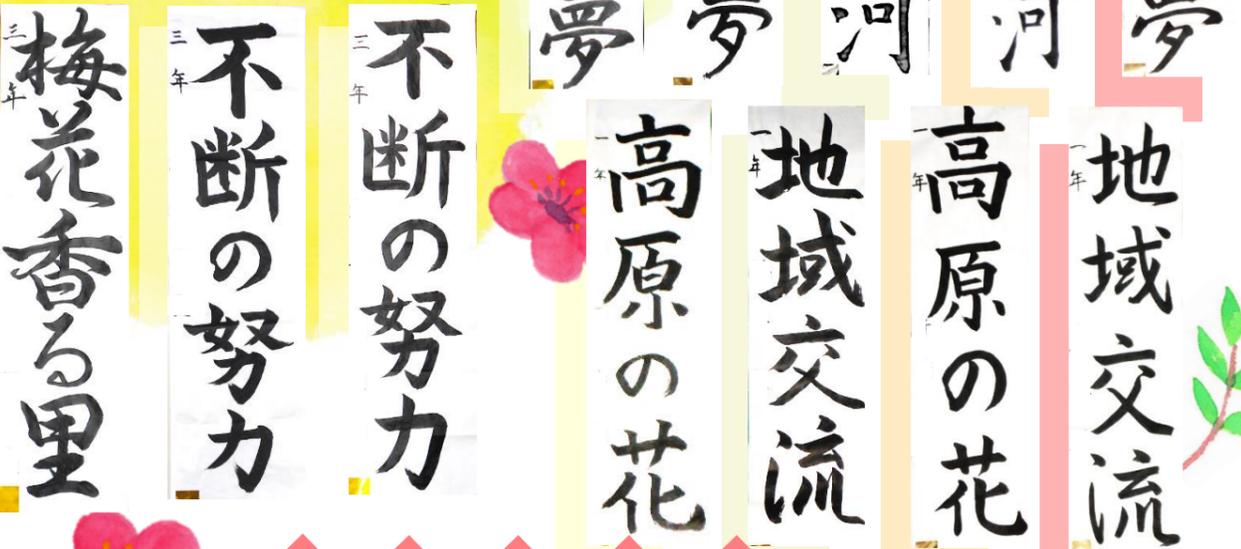
今年も、保護者、地域の皆様におかれましては、引き続き本校の教育活動にご理解、ご支援のほどをよろしくお願いいたします。

校長室より  
渡邊 渉

## 校内書初め展

3学期が始まり、1月は冬休みに書いた書初めを各クラスで展示しました。

国語科で審査し、今年も金賞・銀賞・銅賞を選出しました。数々の素晴らしい作品の中から、金賞受賞者10名の作品を紹介します。



## 仁 義 礼 智 信

2024年が始まり、早い1ヶ月が経とうとしています。今年も箱根駅伝に熱狂からスタートしました。

その箱根駅伝がスタートしたのは1920年。当時は、現在の正月とは違い、2月14、15日の開催でした。出場校はわずか4校。往路は午前の講義後の午後1時にスタートし、首位がゴールした時は午後8時半を回っていたとのことです。復路は最終10区で東京高等師範学校(現・筑波大学)が約11分差を大逆転し、初代王者に輝きました。以来、戦争による中断を経て、世紀を越える歴史を紡いできた新春の風物詩。今年も、駒澤大学1強を覆し、今年の第100回大会を制したのは青山学院大学でした。

有力校もシード権を逃す波乱の展開となった今大会。1年に一度の本番にピークを合わせる事がどれほど大変か。ましてや、年々レベルが高くなる舞台で"勝ち続けること"がどれほど至難か。

競技にも人生にも、ここぞという時がある。戦うべき時に戦い、勝つべき時に勝つ。部活であれ、受験であれ、ここぞという時に全力を出し切れるか。それができるのは自身に挑戦し、向上し続ける人です。

## 1 学年校外学習



第187号  
令和6年1月31日(水)  
発行  
台東区立浅草中学校  
〒111-0051  
台東区蔵前1-3-4  
TEL 03(3866)5169  
HP  
<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1320115>